

ゲノム交流会

家族で**遺伝**をもっと話そう

―がん教育に求めるもの―

遺伝子に関連する『がん』教育が中学・高校に導入されます。お家で『遺伝』を話す機会が増えるのではと考え、きっかけとなるがん教育に求めるものを皆さんと共有できる場を設けました。

2022
2・23
[Wed]
14:00 開始
16:00 終了

主催 厚労科学研究 国民が安心してゲノム医療を受けるための社会実現に向けた倫理社会的課題抽出と社会環境整備

研究班代表小杉眞司
実行委員責任者

主幹事 金沢大学附属病院 遺伝診療部／遺伝医療支援センター 渡邊 淳

運営管理 ゲノム交流会実行委員京都大学医学部附属病院／遺伝子診療部 山田崇弘

コーディネーター 一般社団法人ゲノム医療当事者団体連合会 太宰牧子

―交流会のテーマについてお話しいたします

遺伝教育の現状と課題 金沢大学附属病院 遺伝診療部／遺伝医療支援センター 渡邊 淳

小学校における取組みから 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻／看護倫理学分野 竹之内沙弥香

がんと遺伝どう伝えますか 特定非営利活動法人クラヴィスアルクス中央西日本支部 西田久美子

テーマに沿ってグループディスカッションで皆様と意見交換を実施します

―オンライン開催 患者・市民の皆様はどなたでもご参加いただけます

参加費無料・事前申込が必要となります

定員先着四〇名



事前申込先

<https://forms.gle/ZQbMSUixr2P4chBZA>